

「かながわ未来共創プラットフォーム」 募集シート

■募集内容等

募集テーマ	生活困窮者への支援
提案募集の概要 (テーマに関連する事業等の概要)	生活困窮者は、食事だけでなく、日用品や家具といった生活に必要な物資の支援も不足しがちである。また、ひきこもりやケアリーバーなどの若者は、社会との接点が希薄になっているため、解決の手法や仕組みを募集する。
背景・課題	<p>コロナ禍の生活困窮は「見えない困窮」とも言われ、従来の公的支援だけでは、支援の網からこぼれ落ちてしまうことが懸念されている。</p> <p>生活困窮者は様々な事情を抱えており、一人一人に寄り添った支援が必要となるが、うまく行き届いていないことが課題となっている。</p>
課題によって、誰が、どう困っているか(または今後困ることが想定されるか)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な物資の支援を必要とする県民 ・ひきこもりやケアリーバーなどの若者
課題に対する県の現状の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・企業からの寄付金や食料品などの受入れに係るコーディネート ・ひきこもりやケアリーバーなどの若者への相談窓口の設置 ・居場所づくりなど、生活困窮者支援に取り組む NPO 等への支援
県が希望する提案内容	<p>※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料品のほか、生活困窮者からのニーズが高いが寄付が少ない化粧品・洗濯洗剤・家具などの生活必需品の支援 ・ひきこもりなどの若者に対して、社会と接点を持ち、社会復帰の端緒とするために就労体験を実施や就職活動の際の支援
提案の例	<p>※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。</p> <p>① 生活必需品・サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要となった日用品や家具、試供品といった生活必需品等の寄付 ・必要な物資を団体を通じて困窮者に届けるシステムづくり 等 <p>② 社会参加のための就労体験の提供</p> <p>ケアリーバーやひきこもりなどの若者が、社会と接点を持ち、社会参加するきっかけとなる、就労体験の提供やマッチングシステムづくり 等</p>
実施予定時期	提案内容により別途調整します。
県から提供できるメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験のフィールド選定にあたり、県が調整を行います。
その他留意点	

<提案方法>

次のページでご案内する申込フォームへ、必要事項を記入の上、送信してください。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=33311

<問合せ先>

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 未来創生グループ 「かながわ未来共創プラットフォーム」担当
Tel : 045-285-0710

問合せフォーム

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007->

[u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=)